

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 23.3.8 第 177 回国会第 3 号

3月8日(火)、第3回の委員会が開かれました。

1 牧委員長から発言がありました。

2 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・細川厚生労働大臣、小宮山厚生労働副大臣、大塚厚生労働副大臣、内山総務大臣政務官、岡本厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

田村 憲久君(自民)

- ・行政刷新会議の規制仕分け(平成23年3月6日)における一般用医薬品のインターネット等販売規制の議論及び評価結果について伺いたい。医薬品の副作用の重大性にかんがみインターネット等販売の規制緩和は慎重に検討すべきではないか。
- ・国民年金の第3号被保険者の記録不整合問題に係る運用3号を法改正ではなく課長通知で実施することを決定したのは長妻前厚生労働大臣であったことを確認したい。
- ・運用3号の実施時期の議論が行われた年金記録回復委員会(平成22年12月14日)に厚生労働大臣が出席していたにもかかわらず、本年1月下旬まで知らなかったという答弁は問題であり、大臣として責任をどのように受けとめているのか。
- ・厚生労働大臣が運用3号の対応を留保する旨の発言をしたにもかかわらず本年3月15日に年金を支給することは問題であり、支給を停止すべきではないか。また、3月15日に支給する年金については後日返還してもらうようにすべきという内山総務大臣政務官の提案に対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。

坂口 力君(公明)

- ・長妻前厚生労働大臣から細川厚生労働大臣への交代時の事務引継書に運用3号のことは記載されていたのか。
- ・行政側だけでなく個人にも責任がある場合もある運用3号問題については救済を行いながら、より行政側の責任が重い消えた年金問題の救済が進んでいないのは公平を欠くのではないか。

古屋 範子君(公明)

- ・小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含む同時接種後の死亡報告の経緯、これまでの厚生労働省の対応と今後の対応の方向性を伺いたい。
- ・子宮頸がん予防ワクチンが不足している状況に対して、厚生労働省はどのように対処するつもりなのか。
- ・「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の活用状況を調査してもらいたい。また、同様のガイドラインを保育所についても作成することとしているが、その策定状況等についても教えて欲しい。

あべ 俊子君(自民)

- ・さらなる景気の悪化によって厚生年金基金の財政が悪化した場合の厚生労働省としての対応を確認したい。
- ・厚生年金と共済年金の格差に対する国民の不公平感を厚生労働省はどのように考えているか。
- ・社会保障の世代間格差を解消するためにはどのような方策があるか。

加藤 勝信君(自民)

- ・既に年金を受給している者について第3号被保険者の記録不整合が判明した場合には、正しい記録に基づく年金額に減額するのが本来の取扱いとなるのか。また、運用3号の個々の該当者が判明するまでは運用3号に係る課長通知の効果が及ばないという解釈でよいのか。
- ・運用3号によって本年3月15日に年金が支給される者がいることを、厚生労働大臣が2月28日の予算委員会で説明しなかった理由を伺う。
- ・運用3号の取扱いが行われる以前からの問題に加え、運用3号により生じた問題も含まれることから、これらを立法措置で解決するのであれば、議員立法ではなく内閣提出法律案とするべきではないか。